

科目名/提供大学名	東南アジアの言語と文化／福井県立大学
科目名（英文）	Langages and Cultures in Southeast Asia
対象学年	1・2・3
開講時期	前期（集中）
単位数	2単位
科目区分	選択
授業形態・開講形態	講義
担当教員名	津村 文彦（名城大学）、加藤 裕美、吉本 康子
オフィスアワー	講義の前後に質問などを受け付けます。
教員メールアドレス	tumuraf@meijo-u.ac.jp
概要	東南アジア地域における異なった3つの言語（タイ語、ベトナム語、マレー語）をオムニバス形式で学ぶ授業である。それぞれの言語における、あいさつや簡単な文法、数字の教え方などを入門的に学ぶ。
授業目標・目的	東南アジア地域の異なった文化伝統をもつ3つの国から、文法・語彙など大きく異なる3つの言語の初歩を習得するとともに、それぞれの国の文化や社会の特性についての理解を深める。
身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	①タイ語で簡単なあいさつと自己紹介を行う。 ②ベトナム語で簡単なあいさつと自己紹介を行う。 ③マレー語で簡単なあいさつと自己紹介を行う。 ④異なった言語における言語構造の違いについて理解を深める。
授業計画・授業内容	第1回：タイ語1：文字と発音 第2回：タイ語2：こんにちは。私は〇〇です。 第3回：タイ語3：これはおいしいですか？ 第4回：タイ語4：トイレはどこですか？ 第5回：タイ語5：これはいくらですか？ 第6回：マレー語1：文字と発音 第7回：マレー語2：こんにちは。私は〇〇です。 第8回：マレー語3：これはおいしいですか？ 第9回：マレー語4：トイレはどこですか？ 第10回：マレー語5：これはいくらですか？ 第11回：ベトナム語1：文字と発音 第12回：ベトナム語2：こんにちは。私は〇〇です。 第13回：ベトナム語3：これはおいしいですか？ 第14回：ベトナム語4：トイレはどこですか？ 第15回：ベトナム語5：これはいくらですか？ ※開講順は、開講日が決まり次第、並び替えます。
授業方法	授業は配布資料を用い、ビデオや写真などの視覚資料を活用しながら、現代東南アジアの言語と文化についての理解を促進させる。
キーワード	東南アジア タイ語 ベトナム語 マレー語
教科書	毎回プリントを配布します。
参考書	
評価方法・評価基準	小テスト(70%)、授業への関与の程度(30%)により、東南アジア三カ国の言語と文化の理解度を評価する。
関連科目	
履修の要件	
必要な事前・事後学習	
その他・注意事項	授業は6回の集中講義で行います。タイ語（5/12、5/13）、マレー語（6/9、6/10）、ベトナム語（4/28、4/29）を予定していますが、やむを得ない事情により変更することもあります。